

市会事務局決算の概要

1 決算総括

平成 26 年度は、市会及び市会議員の役割や目指すべき方向性を示した「京都市会基本条例」の施行、災害等の突発的な事案や緊急性のある課題に対し、速やかな対応を可能とする「通年議会」の導入など、議会機能の充実を図った。

また、市民の皆様が市会をより身近に感じられるよう、「京都市会基本条例」の内容を紹介するリーフレットの作成等、広報事業において新たな取組を展開するなど、市会広報の充実を図った。

今後とも、地方分権が進展する中で、二元代表制の一翼を担う京都市会が、市民の皆様からの負託に応え、市民生活の向上と京都市の発展に貢献できるよう、事務局機能を確実に発揮していく。

2 重点取組の実績

(1) 議会機能の充実

取組名	実 績
議会基本条例の施行	・市会や市会議員が議会活動を行ううえでの理念や原則・制度等、基本的なことを定めた「京都市会基本条例」の施行
通年議会の導入	・これまで年 4 回あった定例会を年 1 回とし、会期を概ね一年とする「通年議会」の導入

(2) 市会広報の充実

取組名	実 績
市会広報リーフレット等の作成	・「京都市会基本条例」を紹介するリーフレット及び逐条解説の作成 ・子供用リーフレット「おしえて！京都市会」の作成
新聞への広告掲載	・京都市会のトピックス（「京都市会基本条例」の制定、「通年議会」の導入等）を紹介する新聞広告の掲載（平成 26 年 4 月）

(単位:千円)

3 市会事務局所管の決算額

(1)一般会計

ア 歳入

款	予算現額 A	収入済額 B	翌年度繰越額 C	差引 A-B-C
諸 収 入	-	34,433	-	△ 34,433
計	-	34,433	-	△ 34,433

イ 歳出

款項	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
議 会 費	608,000	557,112	-	50,888
議 会 費	608,000	557,112	-	50,888

4 市会事務局主要施策の概要

当初予算額の下段の括弧書きは、補正予算額、前年度繰越額、流用・移用等の予算の増減額、不用額の下段の括弧書きは、翌年度繰越額で、いずれも外数です。

項 目	主 要 施 策 の 概 要	当初予算額(A) (増減額(B))	予算現額 (C=A+B)	決算額(D)	不用額 (F=C-D-E) (翌年度繰越額(E))
		千円	千円	千円	千円
	一般会計合計	608,000	608,000	557,112	50,888
(1 議会運営)		608,000	608,000	557,112	50,888
地方分権に対応した議会機能の充実	政務活動費	447,120	447,120	437,280	9,840
	他都市行政調査、本会議録・委員会記録作成等	92,176 (△ 295)	91,881	59,125	32,756
	市民に向けた情報発信 市会だより作成・配布 会議録検索システム インターネット動画配信 本会議テレビ中継の実施 市会広報ポスターの作成等 など	56,183 (295)	56,478	52,057	4,421
	市会トピックニュースの発信機能強化	3,000	3,000	2,612	388
	市会改革の推進	2,838	2,838	1,106	1,732